

奈良県学校地震防災教育プログラム

防災対応能力の向上を図るため、「第2次奈良県地震被害想定調査結果」及び阪神・淡路大震災や新潟県中越地震の教訓を踏まえ、防災協働社会の担い手として必要な資質や能力の育成を目指した防災教育の体系化が必要である。

本県では、災害発生時の被害を軽減させるとともに子どもたちの防災意識を高めるため、発達段階に応じた奈良県学校地震防災教育プログラムを作成した。

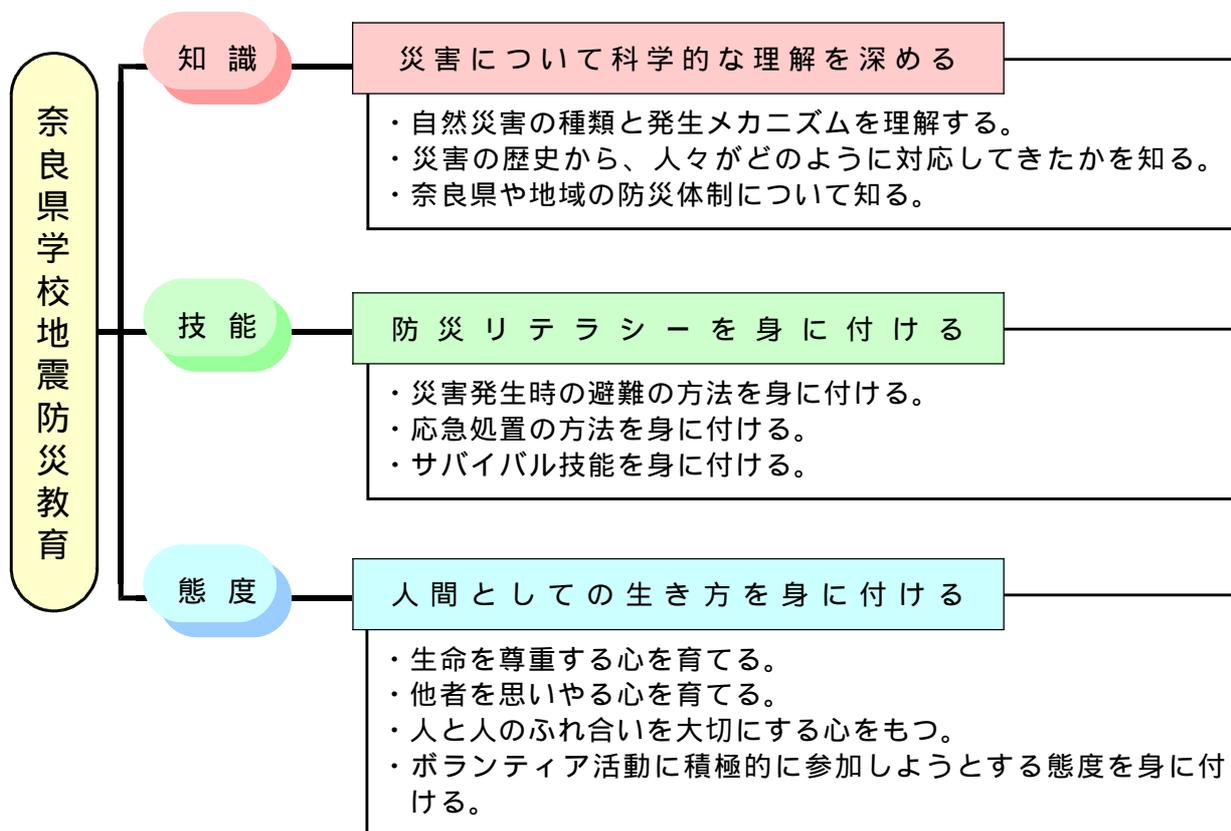
1 奈良県学校地震防災教育の目標

- 災害に自立的に対応できる子どもの育成 -

奈良県学校地震防災教育は、子どもたちを取り巻くさまざまな環境を安全に整える体制づくりはもとより、子どもたちを自立した社会人に育てるために、災害から自らの生命を守る意識や行動力を身に付け、助け合いやボランティア精神などの共生の心を育成することを目標とする。

2 奈良県学校地震防災教育の指導内容

子どもたちの発達段階に応じ、災害に自立的に対応するための「知識」「技能」「態度」に関する内容を指導する。



3 発達段階に応じた到達目標

奈良県学校地震防災教育における発達段階別の到達目標は次のとおりである。防災対応能力を向上させるためには、発達段階に応じた防災教育の達成目標を明確にし、体験的・実践的な学習の展開が必要である。

校種等 学年等	幼稚園(幼稚部)		小学校(小学部)			中学校(中学部)	高等学校(高等部)
			低学年(1~2年)	中学年(3~4年)	高学年(5~6年)		
災害に自立的に対応できる子どもの育成							
到達目標	知識	<ul style="list-style-type: none"> 大規模地震の怖さを感じることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模地震への備えが大切であることを分ることができる。 地域の災害に関心をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模地震への備えが大切であることを理解することができる。 地域の災害の種類が分かり、そのための防災体制が整えられていることを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模地震に対する防災対策の概要を理解することができる。 地域の災害の特性や歴史、防災体制の仕組みについての概要を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地震の発生メカニズムや防災対策について理解し対応することができる。 地域の災害の特性や第2次奈良県地震被害想定調査結果を知り、防災体制の必要性について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地震の発生メカニズムや防災対策について十分理解し、的確に対応することができる。 地域の災害の歴史や第2次奈良県地震被害想定調査結果を理解し、地域の防災体制の必要性についての理解を深めることができる。
	技能	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時には、教職員や保護者の指示に従い行動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時には、教職員や保護者等近くの大人の指示に従うなど適切に行動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害の危険について知り、災害発生時には、教職員や保護者等近くの大人の指示に従うとともに、自ら安全に行動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害の危険を理解し、災害発生時には自ら安全に行動することができる。 災害時のけが等に対し、簡単な手当を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日ごろから災害に対する備えを行い、災害発生時には的確な判断により、自らの安全を確保するための行動をとることができる。 災害時の傷害等に対し、応急手当を適切に行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日ごろから災害に対する備えを行い、災害発生時には状況に応じた的確な判断により、自らの安全を確保するとともに、周囲へ配慮しながら適切に行動することができる。 災害時における傷害や疾病等に対し、心肺蘇生や応急手当等を行うことができる。
	態度	<ul style="list-style-type: none"> 危険な場所に近づかないなど、自分の生命を守ろうとすることができる。 災害発生時には、家族や大人から離れないようにすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生命を大切にすることをもち、生命を守ろうとすることができる。 災害発生時には、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自他の生命の尊さを感じ取り、安全な行動や規律ある集団行動を取ることができる。 災害発生時には、家族や友達などみんなと助け合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重することができる。 安全な行動や規律ある集団行動を取るとともに、集団における自己の責任を認識することができる。 災害発生時には、家族や友達、周囲の人々と助け合うとともに、ボランティア活動に参加することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命や存在を尊重することができる。 安全な行動や規律ある集団行動をとおり、集団への所属感や連帯感をもつことができる。 災害発生時には、自らの安全を守るだけでなく、ボランティア活動等に積極的に参集し、地域の人々の安全に役立つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自他の生命や存在を尊重し、安全な生活態度や習慣を確立させることができる。 集団や社会の一員としての在り方生き方を考えて行動することができる。 災害発生時には、自らの安全を守るだけでなく、防災活動やボランティア活動等に積極的に参集し、地域の人々の安全確保に貢献することができる。

* 盲、ろう、養護学校においては、幼稚園、小学校、中学校及び高等学校の到達目標に準ずるとともに、児童等の障害の状態や特性、発達段階等に十分考慮して、適切な目標を設定する。

4 奈良県学校地震防災教育プログラムの構成

学校（園）において防災教育を展開する際、何を題材にどのようなねらいで展開するのかを明確にする必要がある。地震災害については、例えば「地震発生のメカニズムを知ろう」や「復旧復興について学ぼう」など、さまざまなテーマが考えられる。

下図は、学習のテーマをカテゴリー別に整理したものである。児童等の発達段階に応じ、「知識」「技能」「態度」の指導内容や展開する教科（科目）等の目標に配慮しながら、計画的に実施することが大切である。

奈良県学校地震防災教育プログラム（構成図）

